

ボルグワーナー、パートタイム4WDトランスファーケースを 江西五十鈴汽車のピックアップトラック「Ruimai」向けに供給

ボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:ジェームズ・ベリアー/James Verrier)は、日中合弁企業の江西五十鈴汽車(Jiangxi ISUZU Motors Limited)にパートタイム4WD(AWD)トランスファーケースの供給を発表しました。2016年型AWD 2.8Lディーゼルの中型ピックアップトラック「Ruimai」向けに供給されているボルグワーナーの本技術は、江西五十鈴汽車が今後発売するその他のピックアップトラックにも順次採用されていく予定です。ボルグワーナーによる最先端の電気式シフトオンザフライシステムを搭載したこのトランスファーケースで2WDから4WDへの素早くスムーズな切り替えが実現し、舗装道路はもとより、険しい悪路でも運転しやすくなるほか、軽量設計により燃費も改善されます。

ボルグワーナーの電気式シフトオンザフライシステムは、電磁式シンクロ機構により前後の車軸速度を同期することで高速走行中にも2WDから4WDへの切り替えを可能にしています。機械的に同期する従来のシステムとは異なり、ボルグワーナーの堅牢かつ高性能なシステムは、ノイズや振動を改善することで2WDから4WDへのスムーズかつ静かで安定した移行を実現しています。また、本製品は、コンパクトなパッケージに収まるサイズと優れた耐久性を実現するHY-VOチェーン技術を用いた同社のHY-VO®トランスファーケースチェーンを搭載し、高効率を実現するよう最適化されています。

自動車の電動化技術やトルクコントロール製品などを展開するボルグワーナーのグループ会社、ボルグワーナー・パワードライブシステムズの社長兼事業本部長のステファン・デメール博士(Dr. Stefan Demmerle)は、「当社の製造とエンジニアリングにおける現地サポートが評価され、中国の主要自動車メーカーである江西五十鈴汽車のサプライヤーとして、同社ブランド初のピックアップトラック向けに、当社の最新鋭のAWD技術を供給できることを誇りに思います。長年にわたり4WDソリューションの開発に注力してきた当社では、自動車メーカーに優れたパートタイムトランスファーケースを供給することにより、車両の動力性能の向上と指先でダイヤルを回すだけでスムーズな走行モードの切り替えの実現を支援しております。」と述べています。



最先端の電気式シフトオンザフライシステムにより
2WDから4WDへの素早くスムーズな切り替えを実現したトランスファーケース

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー（NYSE: BWA）は、自動車の内燃機関、ハイブリッド車、電気自動車向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを提供するグローバルなリーディングカンパニーです。世界 17 カ国 62 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 27,000 人の従業員を擁しています。詳細については、borgwarner.com をご覧ください。

本プレスリリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待、推測、予測に基づく、1995 年米国私的有価証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「もたらず」、「推測する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「取り組み」、「意図する」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「計画」、「追求する」、「目指す」、「すべき」、「目標とする」、「の場合」、「と見込まれる」といった文言、その変化形、同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを明示することを意図しています。将来予測に関する記述にはリスクと不確実性が付随しますが、そうしたリスクや不確実性の多くは予測困難かつ一般に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、予測、示唆された事柄が実際の結果と著しく異なる場合があります。そうしたリスクおよび不確実性には、国内外の車両生産の変動、OEM 企業による外部サプライヤーの継続的な利用、当社製品が使用された車両の需要の変動、一般的な経済情勢の変化、直近の Form 10-K 年次報告書で挙げたリスク要因をはじめとして当社が証券取引委員会に提出した報告書で述べたリスクが含まれます。当社は、将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 後藤、副島、山本

TEL : 03-3571-5326 FAX : 03-3574-0316 E-mail : borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp